

旧環境衛生事務所解体工事

意匠図		構造図		参考図					
図面 番号	図面名称	図面 番号	図面名称	図面 番号	図面名称		図面 番号	図面名称	
101	特記仕様書（1）	201	既存建物 伏図・部材リスト	501	衛生課分室新築工事 附近見取図・配置図・面積表	18枚ノ内 1	521	衛生課分室薬剤倉庫換気改修工事 付近見取図・配置図・平面図	1/1
102	特記仕様書（2）	202	既存建物 基礎伏図・基礎詳細図	502	衛生課分室新築工事 仕上表・平面図・立面図・断面図	18枚ノ内 6	522	衛生課分室倉庫薬品庫石綿対策工事 特記仕様書	1/3
103	特記仕様書（3）			503	衛生課分室新築工事 矩計図・詳細図	18枚ノ内 7	523	衛生課分室倉庫薬品庫石綿対策工事 平面図・断面詳細図・天井伏図・展開図	3/3
104	付近見取図、敷地面積求積図			504	衛生課分室新築工事 B棟展開図	18枚ノ内 8			
105	家屋調査範囲図	電気設備図		505	衛生課分室新築工事 各展開図	18枚ノ内 9			
106	現況配置図	図面 番号	図面名称	506	衛生課分室新築工事 軸組図・天井伏図	18枚ノ内 10			
107	解体撤去図	301	既存建物 電気設備図	507	衛生課分室新築工事 建具表	18枚ノ内 11			
108	仮設計画図・工事手順図			508	衛生課分室新築工事 鉄骨部詳細図	18枚ノ内 12			
109	仮設計画詳細図			509	衛生課分室新築工事 鉄骨階段詳細図	18枚ノ内 13			
110	敷地整備計画図	機械設備図		510	衛生課分室新築工事 基礎伏図詳細図	18枚ノ内 14			
111	敷地整備詳細図	図面 番号	図面名称	511	衛生課分室新築工事 C棟平面断面詳細図	18枚ノ内 15			
112	現況平面図・内部仕上表	401	既存建物 機械設備図	512	衛生課分室新築工事 電気設備図	18枚ノ内 16			
113	現況立面図・断面図（外部仕上）	402	ネオ式浄化槽30人槽 参考図	513	衛生課分室新築工事 給排水設備図	18枚ノ内 17			
				514	衛生課分室新築工事 排水設備図・プロパンガス配管図	18枚ノ内 18			
				515	衛生課分室冷房設備工事 配管配線位置図	1/2			
				516	衛生課分室冷房設備工事 配管配線位置図	2/2			
				517	衛生課分室冷屋内貯蔵所（薬品庫） 配置図・付近見取り図	1/2			
				518	衛生課分室冷屋内貯蔵所（薬品庫） 平面図・立面図・矩計図	2/2			
				519	衛生課分室屋根塗装工事 付近見取図・配置図	1/2			
				520	衛生課分室屋根塗装工事 屋根伏図・立面図・断面図	2/2			

旧環境衛生事務所解体工事			中尾綜合建築設計事務所				Project Codo	図面リスト	一級建築士 登録 第292028号 中尾勝悦
			NAKAO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE				DATE		
							2025. 2		

[illegible]

2章 仮設工事	① 共通事項	※ 一般事項、仮設材料は、[2.1.1][2.1.2]による。	3章 解体施工	① 一般事項	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体工事用重機、仮設材等の工事車両搬入出時と同様に、近隣住民に配慮し安全確保、騒音振動の減少に努めること。 ※ 解体工事の実施に先立ち、事前に解体建物の立地条件や周辺状況を調査し、現場を十分熟知の上施工を行うとともに、作業員及び周辺の安全確保、環境保全に努めること。なお不明な点は、監督職員と適時協議打合せを行い、その指示に従うこと。 ・ 解体工事に先立ち、最初にシーリング材(PCB含有ポリサルファイド「シーリング」)の撤去工事を行うこと。保管場所については監督職員の指示に従うこと。 ※ 供給設備の撤去に当たっては事前調査を行い、必要な手続きが完了した後、施工を行うこと。 ※ 洗車設備を1ヶ所以上設置する。ただし、工事車両の出入口を2箇所以上設定する場合は、当該箇所ごとに追加設置すること。 ※ 基礎部分は特記無き限り杭を含め完全に掘り起こし撤去すること。 ※ 解体材の焼却等一切の火気を禁ずる。 ※ 作業場内には高圧散水機を設置し、解体・分別・積込みの作業重機毎に、散水者を配置し常に防塵に努めること。また敷地周辺に粉塵の飛散無きよう、作業前から解体物や仮置ガラ等を十分に湿潤した上で、散水者による放水を行いながら施工すること。散水ノズルを固定した無人の散水は認めない。 ※ 粉塵の飛散が特に多い場合、又は監督職員の指示がある場合は、解体分別・積込みの作業重機毎に、散水者を2名配置し防塵強化に努めること。 総合施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、監督職員の承諾を得ること。	3章 解体施工の続き	⑦ 躯体	躯体は、次の(1)から(5)に分別解体する。 [3.8.1-2] (1) コンクリート (2) 鉄筋 (3) 鉄骨 (4) 木材 (5) その他の構造材 ・コンクリート等の撤去作業については、原則、油圧式の圧碎機を使用し、低騒音、安全で能率的な作業方法により順次解体すること。 [3.9.2] 8. 杭 杭の解体 ・ 行う (・杭頭から mまで ※ 全長) ・ 行わない 存置した杭については杭芯位置を実測し、記録を監督職員に提出すること。 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 (・ 振動 ※ ケーシング ・) ・ 粉砕による解体 ※ 杭引き抜き跡には、地盤の安定を維持するため山砂等を充填する。 [3.10.1] ⑨ 樹木等 樹木の伐採伐根及び移植 ○ 行う (図示による) 樹木の撤去は、特記なき限り根株を含めて掘り起こし、場外搬出処分とする。 [3.11.1] ⑩ 地下埋設物の埋設配管 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う (図示による) ・行わない [3.12.1] ⑪ 解体後の整地 解体後の埋戻し及び盛り土 ※ 行う ・行わない 埋戻し及び盛土の材料 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ○ D 種 なお、埋戻し及び盛土は、各層300mm程度ごとに締め固める。 埋戻し範囲 ※ 図示による 整地の高さ ※ 現状GL ・ 図示による ・ 周辺への土砂流出を防ぐため、敷地周囲2mは再生砕石敷き(t40)とする。	4章 建設廃棄物の処理	① 運搬及び処分の委託	建設廃棄物の運搬及び処分の委託契約は、廃棄物処理法の規定により、委託先ごとに、個別に書面で行う。 建設廃棄物の処理の委託に当たっては、マニフェストを交付し、最終処分が終了したことを確認する。 [4.3.1]			
	② 騒音、粉じん、足場等	※ (1) 騒音・粉じん等の対策は、[2.2.1]により、その適用は次による。 ○ (ア) 防音パネル(図示部分) ・ (イ) 防音シート ○ (ウ) 養生シート(図示部分) ○ (エ) 騒音・振動計の設置 ※ 足場等は、(2.2.1)による。 【特記】 ○ 足場 ・ 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ 棚足場 <2.2.1>[2.2.2] ・ 外部足場 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 <表2.2.1> ・ 防護措置 ※ 設ける ・ メッシュシート ・ 防音シート ※ 防音パネル ・ 垂直養生ネット ・ 防護柵(朝顔) ・ 設けない ・ A種 ○ B種 ・ C種 <表2.2.1> ・ D種 ※ E種		② 施工計画書等	⑧ 躯体	杭の解体 ・ 行う (・杭頭から mまで ※ 全長) ・ 行わない 存置した杭については杭芯位置を実測し、記録を監督職員に提出すること。 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 (・ 振動 ※ ケーシング ・) ・ 粉砕による解体 ※ 杭引き抜き跡には、地盤の安定を維持するため山砂等を充填する。 [3.10.1] ⑨ 樹木等 樹木の伐採伐根及び移植 ○ 行う (図示による) 樹木の撤去は、特記なき限り根株を含めて掘り起こし、場外搬出処分とする。 [3.11.1] ⑩ 地下埋設物の埋設配管 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う (図示による) ・行わない [3.12.1] ⑪ 解体後の整地 解体後の埋戻し及び盛り土 ※ 行う ・行わない 埋戻し及び盛土の材料 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ○ D 種 なお、埋戻し及び盛土は、各層300mm程度ごとに締め固める。 埋戻し範囲 ※ 図示による 整地の高さ ※ 現状GL ・ 図示による ・ 周辺への土砂流出を防ぐため、敷地周囲2mは再生砕石敷き(t40)とする。	② 再資源化等	次の建設廃棄物は「発生材の処理」[1.3.10]によるものを除き再資源化する。 ・ 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 (1) コンクリート (2) コンクリート及び鉄からなる建設資材 (3) アスファルト、コンクリート (4) 木材 ・ 金属類 ・ 小型二次電池						
	③ 仮設物	※ 監督職員事務所等は、(2.3.1)による。 ○ 設けない(受注者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける(規模 20㎡程度 受注者事務所と同様 ※可 ・否) 備品() 養生の方法 : ※ 受注者事務所を設置する場合は、建築基準法を遵守したコンクリート基礎への緊結を行うこと。設置場所については監督職員の承諾を得ること。		③ 事前措置	【害虫駆除】 [3.2.1] ※ 建築物等の解体に際して、周辺環境に害虫等による影響が予想されるため仮囲い設置完了後、撤去作業前に建物の内外に以下に示す薬剤を散布しゴキブリ等の害虫駆除及び移動防止を図る。 <table><tr><th>薬剤の種類</th><th>成分:フェントロチオン(乳剤、粉剤とも)</th></tr><tr><td>乳 剤</td><td>10%濃度、10～20倍希釈液を50ml/㎡噴霧。建物内部、建物外周</td></tr><tr><td>粉 剤</td><td>1.5%濃度、20g/㎡散布。仮囲い内側</td></tr></table> ※ 駆除方法は次による。 (1) 薬剤使用によるベット類の事故等周辺住民に迷惑がからないよう駆除前に注意書の配布、掲示等でお知らせを行う。 (2) 雨天時、強風時は駆除作業は行わない。 (3) 駆除作業の完了後は、終日養生に努める。 (4) 駆除作業者は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく登録業者とする。 (5) 駆除作業の完了後、速やかに上記業者から衛生害虫駆除作業記録表を提出させる。 【電気・機械設備類】 ※ 給水管、ガス管、ケーブル等の供給管等の切断は次の(i)及び(ii)による。 (i) 切断は解体に支障がない位置で適切に行い、給水管、ガス管等は一次側をプラグ止めするなど止水又は漏えい防止措置を講ずる。 また切断位置は明確にし、記録を監督職員に提出する。 (ii) 新たに配管、配線等の切回しが必要となる場合は、監督職員と協議する。 ※ 給水本管(直圧部)の閉栓等については、守口市指定給水装置工事事業者で施工すること。 ※ 電気設備のコンデンサ等は、残留電荷の放電を行う。 ※ 蓄電池等は、充電状態の確認を行い、短絡等による事故発生を防止する。 ※ 衛生器具等は十分に洗浄を行い、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。 ・ ガス閉栓及びメーターに関する施工は「ガス事業法」に基づく事業者の責任施工とする。 ※ 次のものは撤去前に内容物の回収を要する。 廃油、各種冷媒、廃酸、廃アルカリ ※ 特定製品に係わるフロン類の改修及び破壊の実施確保に関する法律に基づき適切に処理すること。	薬剤の種類	成分:フェントロチオン(乳剤、粉剤とも)	乳 剤		10%濃度、10～20倍希釈液を50ml/㎡噴霧。建物内部、建物外周	粉 剤	1.5%濃度、20g/㎡散布。仮囲い内側	5章 特別管理産業廃棄物の処理	1. 運搬処分及び回収の委託 特別管理産業廃棄物の運搬、処分及び回収の委託契約は、廃棄物処理法その他関係法令の規定により、委託先ごとに個別で行う。 特別管理産業廃棄物の処理の委託に当たっては、マニフェストを交付し、最終処分が終了したことを確認する。 [5.3.1]
	薬剤の種類	成分:フェントロチオン(乳剤、粉剤とも)												
	乳 剤	10%濃度、10～20倍希釈液を50ml/㎡噴霧。建物内部、建物外周												
	粉 剤	1.5%濃度、20g/㎡散布。仮囲い内側												
	④ 山留め	※ 山留の設置、山留の管理、山留の撤去は、(2.4.1)～(2.4.3)による。		④ 解体方法	解体撤去の施工に先立ち、分別解体等を適切に遂行するための具体的手段と方法等を明示した施工計画書を作成し監督員に提出すること。 建築物の解体撤去に当たっては分別解体等を行う事とし、解体方法は次のとおりとする。ただし、建築物の構造上その他解体工事の施工技術上これによりがたい場合は、監督員の指示による。 [3.3.1-2] <table><tr><th>解体の対象</th><th>解体方法</th></tr><tr><td>建築設備、内装材、屋根葺材等</td><td>※手作業 ・手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>外装材、躯体、基礎及び杭、構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管</td><td>・手作業 ※手作業、機械作業の併用</td></tr></table>	解体の対象	解体方法	建築設備、内装材、屋根葺材等		※手作業 ・手作業、機械作業の併用	外装材、躯体、基礎及び杭、構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管	・手作業 ※手作業、機械作業の併用	2. PCBを含む機器類等 PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有(数量は図示) ・ 無 [5.4.3] PCB含有シーリング材 ・ 有(施工範囲は図示) ・ 無 [5.4.4] ・ PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、監督職員の指示する保管場所へ移設する。 ・ PCB廃棄物の移設にあたっては、PCB廃棄物収集運搬業者と廃棄物処理法に従い書面により委託契約を締結すること。尚、移設運搬に係る費用については、請負者の負担とする。 [5.4.5]	
	解体の対象	解体方法												
	建築設備、内装材、屋根葺材等	※手作業 ・手作業、機械作業の併用												
	外装材、躯体、基礎及び杭、構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管	・手作業 ※手作業、機械作業の併用												
⑤ 交通誘導員	※ 配置する(常駐 1人× 100日(5ヶ月)＝ 100人日) ※ 配置する(非常駐 1人× 10日＝ 10人) ・ 配置しない	⑤ 内装材	内装材は、次の(1)から(6)に分別解体する。 [3.5.1] (1) 木材 (2) 鋼製建具、アルミ製建具、SUS製建具 (3) せっこうボード (4) ALCパネル (5) 壁、天井材等の金属下地 (6) その他の内装材等	3. 廃油 オイルタンク、オイルサービスタンク、機器類等の廃油は、[5.3.1]により、関係法令等に従い回収し、焼却処分又は中間処理施設で再生処理する。 廃油の回収に際しては、養生を行い土壌への汚染を防止する。										
⑥ 工事表示板	※ 設置する(設置枚数 各1枚) 以下のものを工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示する。 建設業許可標識(解体工事業者登録票)、労災保険関係成立票 施工体系図、現場事務所の電話番号、週間工程表 建設リサイクル法通知済みシール、計画通知の確認済証 建退共制度の適用標識、アスベスト施工に関する事前調査結果 ・ 設置しない	⑥ 外装材	外装材は、次の(1)から(8)に分別解体する。 [3.6.1] (1) ALCパネル (2) 押出成形セメント板 (3) メタルカーテンウォール (4) PCカーテンウォール (5) ガラスカーテンウォール (6) ガラス (7) 建具 (8) その他の外装材	4. 廃酸、廃アルカリ 次の機器に含まれる酸・アルカリの処理は、[5.3.1]によるか又は製造業者に委託して、関係法令等に従い回収し、中和処理、焼却処分又は中間処理施設で再生処理する。なお、適用は特記による。 (1) 吸収冷凍機、直焚き吸収冷水機等の臭化リチウム水溶液等 (2) 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液										
7. 養生	固定備品、机、家具等の移動 ※ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1> 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ※ 行う(図示) ・ 行わない 養生の方法 : 保管場所 :													
⑧ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・無償) ※ 利用できない ※ 工事仮設用として上下水道局と契約するものとする。													
⑨ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる(※有償 ・無償) ※ 利用できない ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く ※ 工事仮設用として電力供給会社と契約するものとする。													
⑩ 工事用通路	・ 指定しない ○ 指定する(図示)													
11. その他の仮設	・													

旧環境衛生事務所解体工事	特記事項				中尾綜合建築設計事務所 NAKAO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE	architect checked by	山田	Project Code	特記仕様書(2)	Scale of drawing	Number in set
		*				中尾	山田	DATE			
									2025.2		

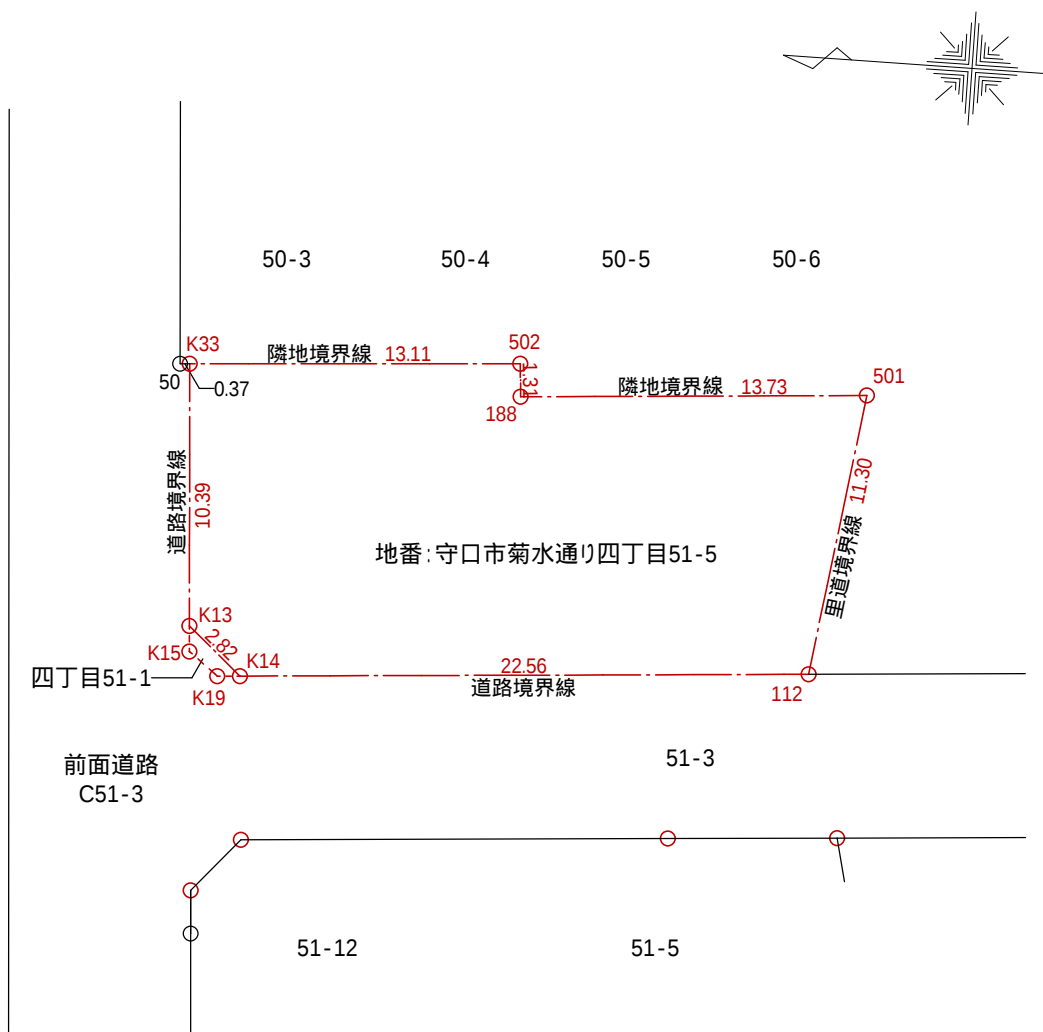
■ 付近見取図 1:2,500

出力日:2024年10月01日



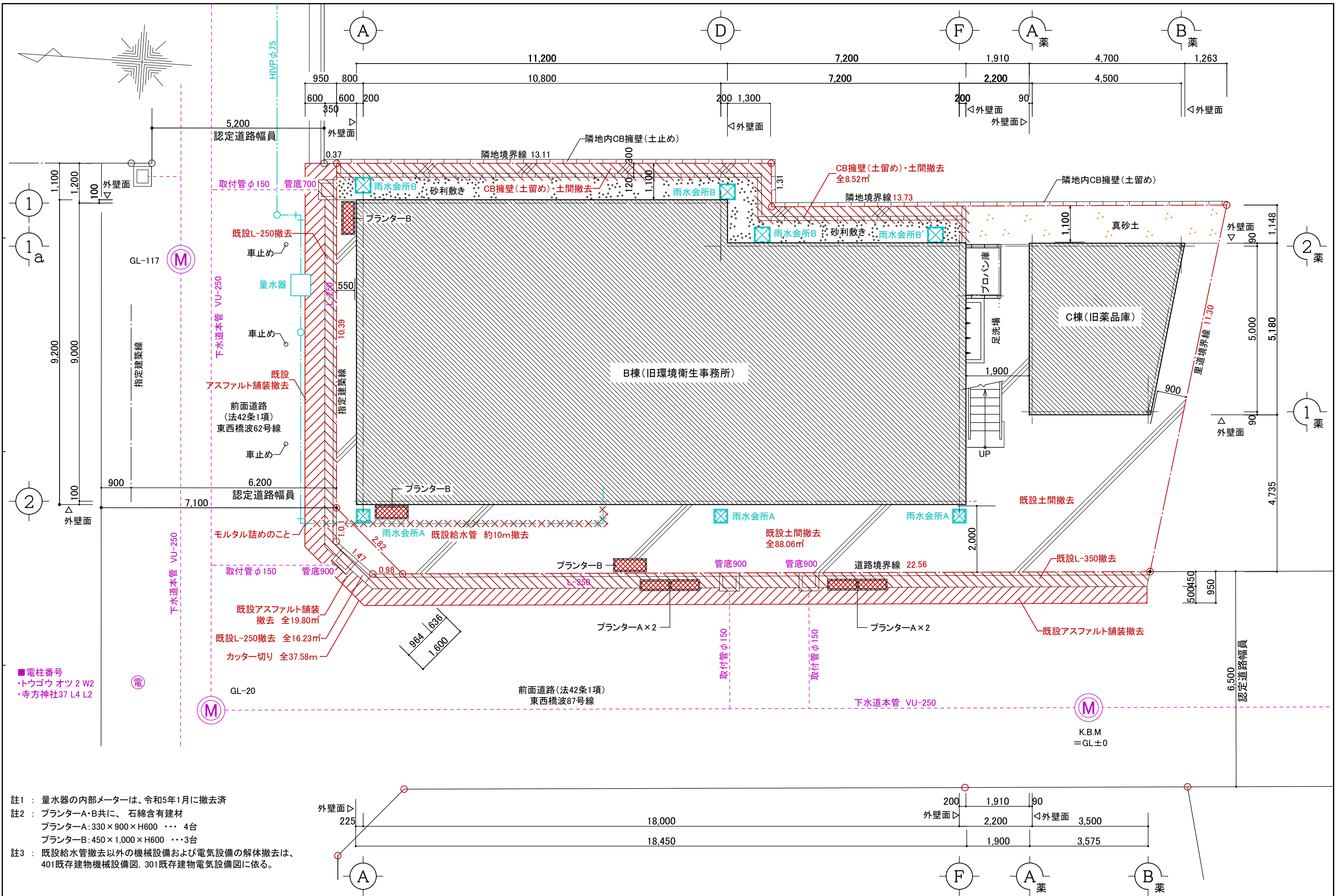
■ 付近見取図 1:2,500

1 : 2,500



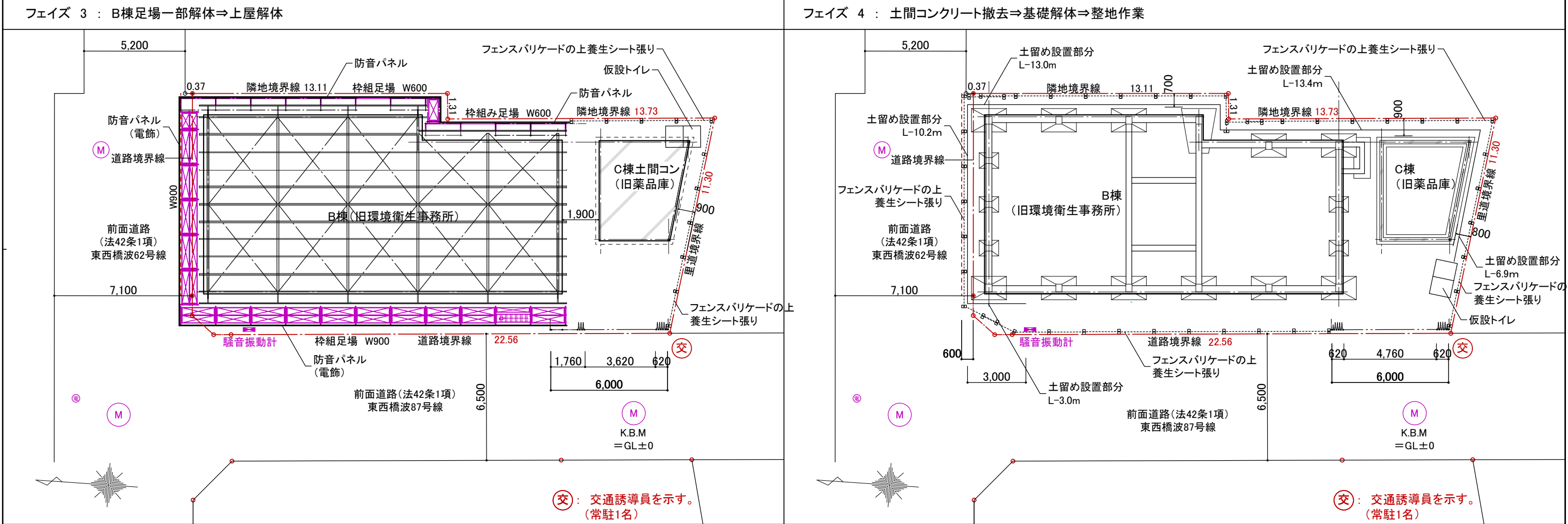
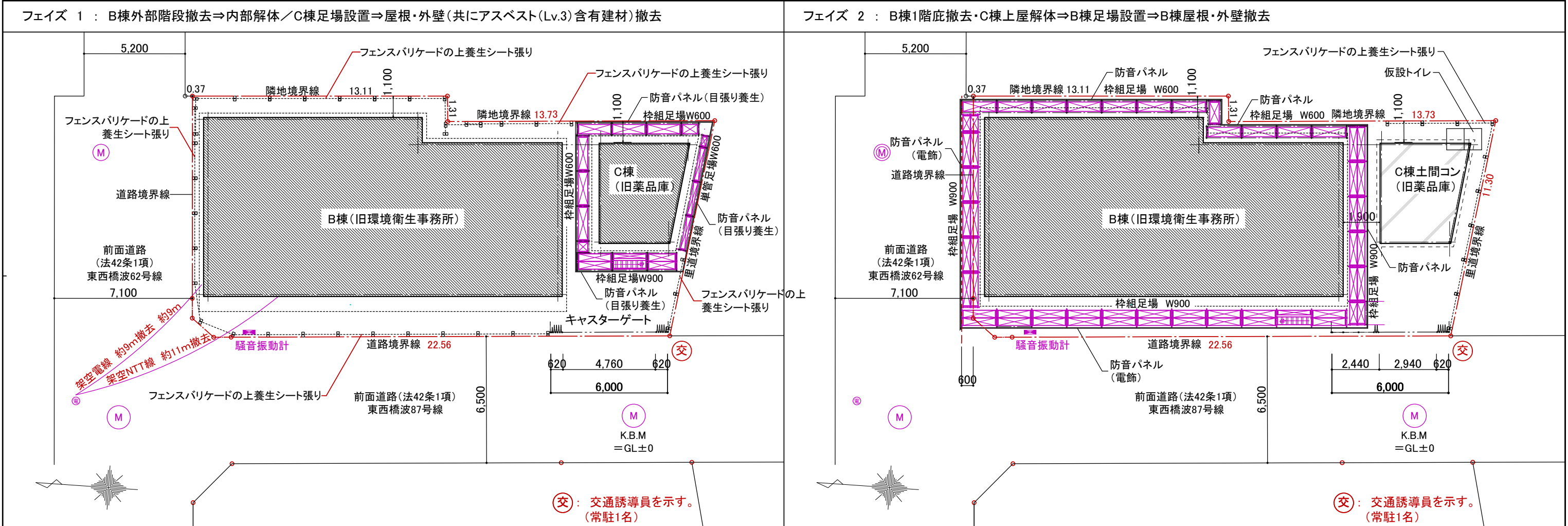
地番	守口市菊水通四丁目 51-5					
測点	標識	X _n	Y _n	(X _{n+1} -X _{n-1})Y _n	距離	備考
K13	金属板	-141333.411	-38547.288	-109744.128936	2.82	
K14	金属板	-141335.543	-38549.138	-949850.760321	22.56	
112	金属板	-141358.051	-38547.504	-927028.923696	15.86	金属板が剥がれている
501	コンクリート杭	-141359.592	-38536.307	468562.956814	13.81	コンクリート杭が見当たらない
188	コンクリート杭	-141345.892	-38537.309	532123.162672	1.31	
502	金属板	-141345.784	-38536.003	508521.095588	13.11	
K33	金属板	-141332.696	-38536.914	476817.236923	10.39	
		倍 面 積	599.360957			
		面 積	299.6804785			
		地 積	299.68㎡			
		坪 数	90.65坪			

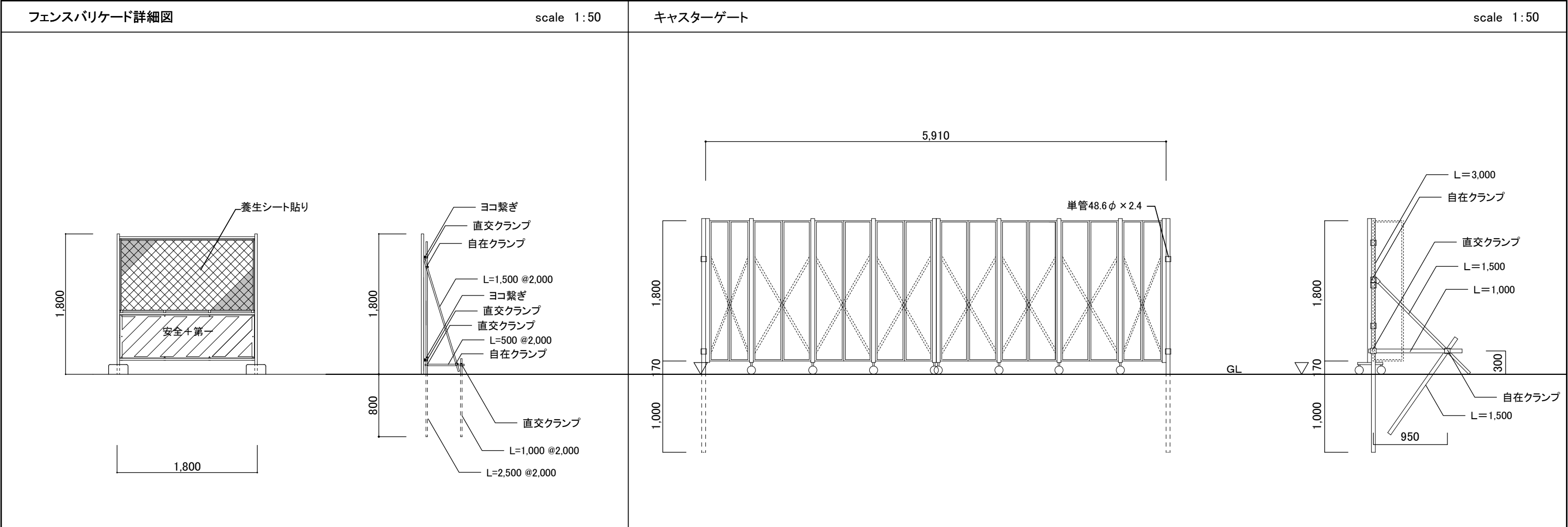
図中 地籍・座標は平成20年12月20日 土地家屋調査士 乙部悦美 作成の丈量図による

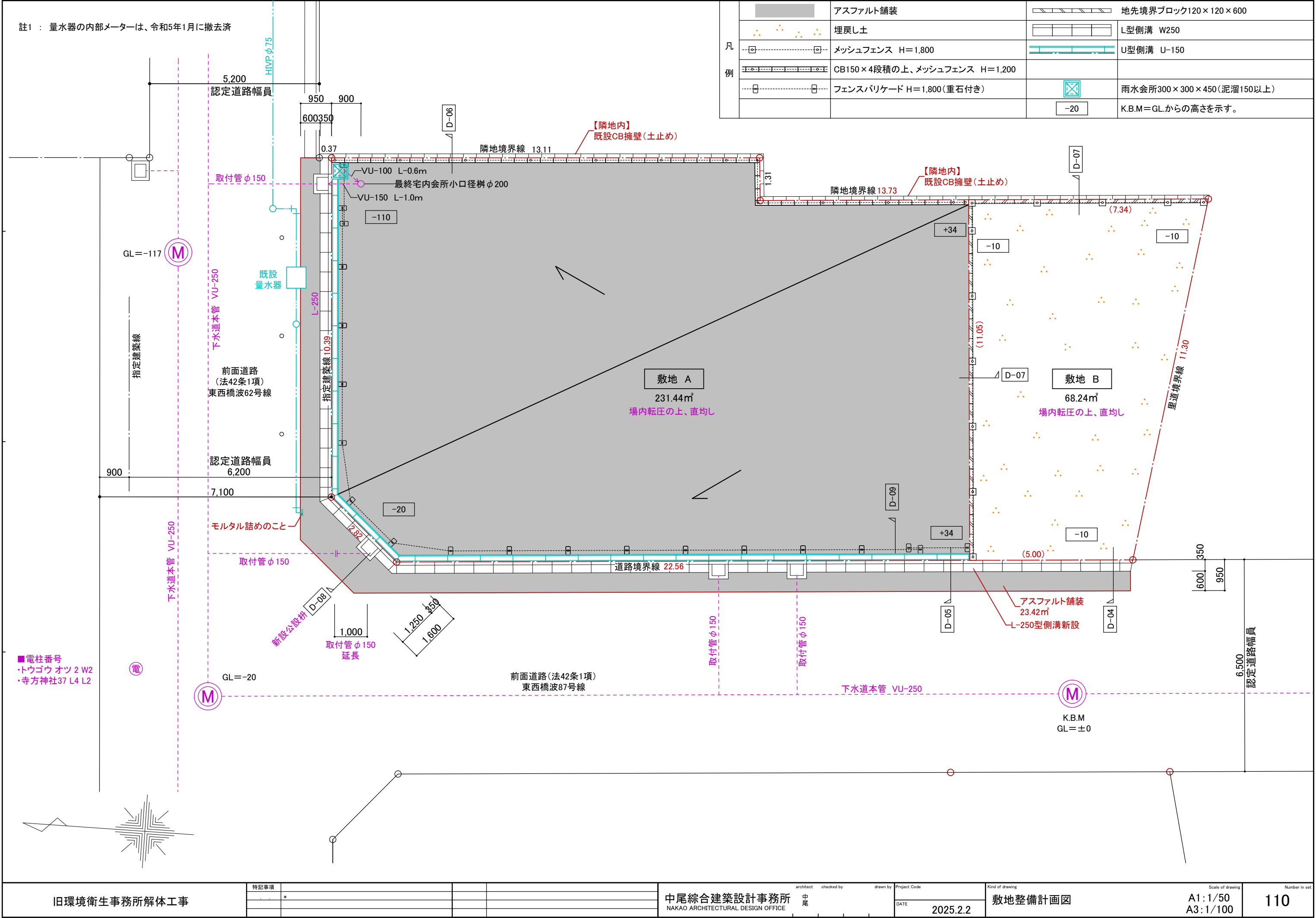


註1 : 量水器の内部メーターは、令和5年1月に撤去済
註2 : プランターA・B共に、石綿含有建材
プランターA: 330 × 900 × H600 ... 4台
プランターB: 450 × 1,000 × H600 ... 3台
註3 : 既設給水管撤去以外の機械設備および電気設備の解体撤去は、
401既存建物機械設備図, 301既存建物電気設備図に依る。

旧環境衛生事務所解体工事	特記事項				中尾綜合建築設計事務所 NAKAO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE	architect	checked by	drawn by	Project Code	解体撤去図	Scale of drawing A1: 1/50 A3: 1/100	Number in set 107
		*				中尾			DATE			
									2025.2			





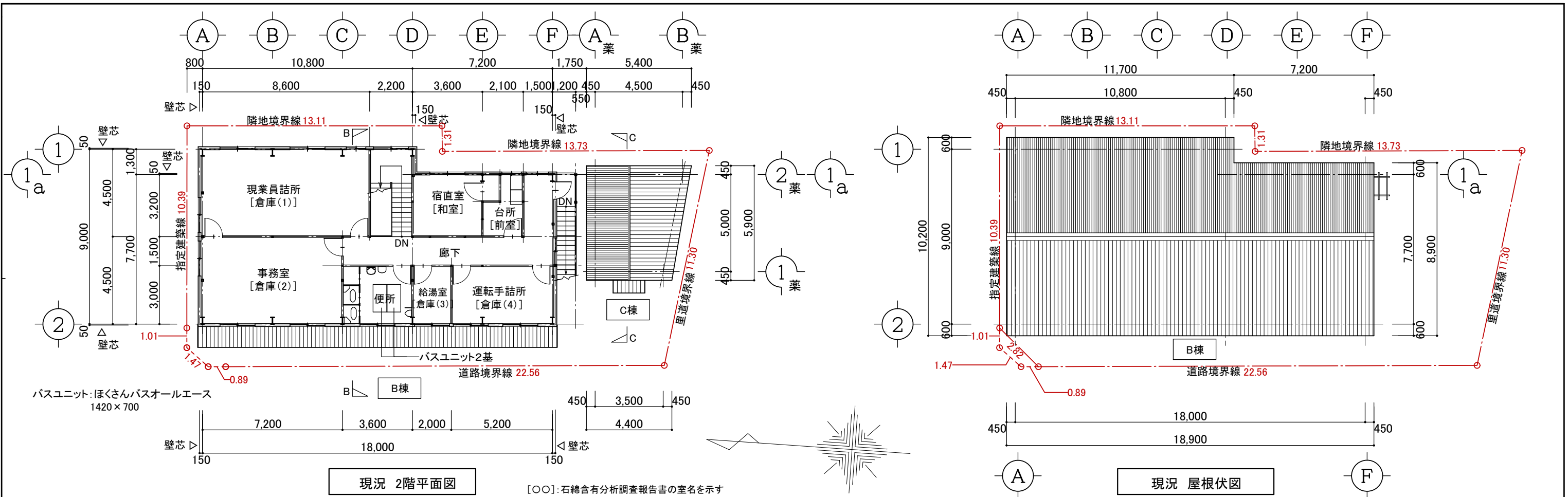


註1 : 量水器の内部メーターは、令和5年1月に撤去済

凡 例		アスファルト舗装		地先境界ブロック120×120×600
		埋戻し土		L型側溝 W250
		メッシュフェンス H=1,800		U型側溝 U-150
		CB150×4段積の上、メッシュフェンス H=1,200		
		フェンスバリケード H=1,800(重石付き)		雨水会所300×300×450(泥溜150以上)
				-20
				K.B.M=GLからの高さを示す。

■電柱番号
・トウゴウ オツ 2 W2
・寺方神社37 L4 L2

D-01	敷地内アスファルト舗装	scale 1/20	D-02	路面復旧舗装工法	scale 1/20	D-03		D-04	L型側溝	scale 1/20	D-05	U字側溝	scale 1/20								
守口市N3交通			守口市N4交通																		
注: 場内直均し後レベル測定を行ない、監督員と協議の上、残土が出ない様に碎石厚にて調整する。			注: 現況道路構造が判明次第、道路公園課と仕様について協議し、監督員に報告の上、その指示に従うこと。																		
D-06	CB積の上、メッシュフェンス H=1,200	scale 1/50	D-07	メッシュフェンス H=1,800	scale 1/50	D-08			新設公設柵詳細図												
								注: 下水道施工承認申請必要													
D-09	フェンスバリアード詳細図					scale 1/50															
旧環境衛生事務所解体工事		特記事項				中尾綜合建築設計事務所		architect		checked by		drawn by		Project Code		Kind of drawing		Scale of drawing		Number in set	
		*				NAKAO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE		中尾		山田		DATE		2025.2		敷地整備詳細図		A1:1/10・1/25		111	
																		A3:1/20・1/50			

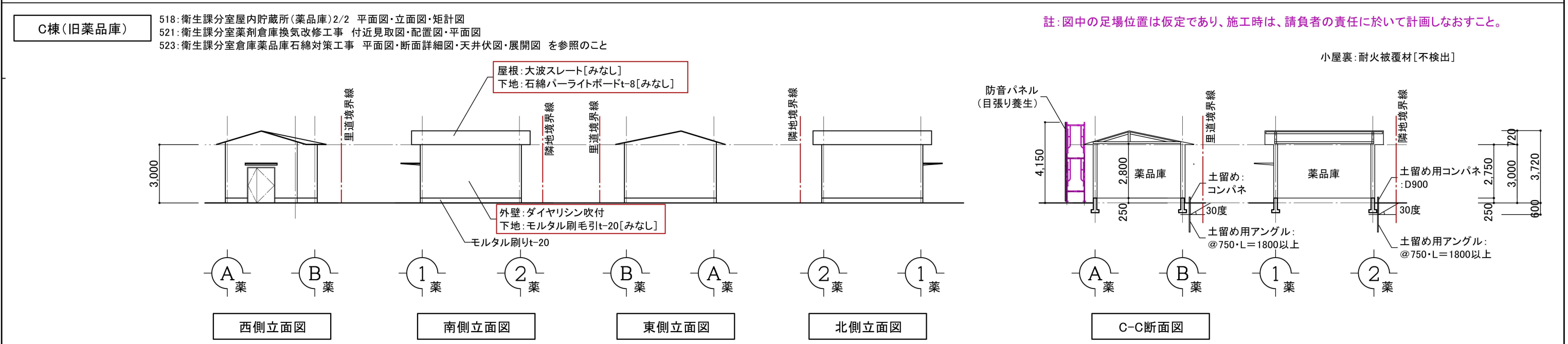
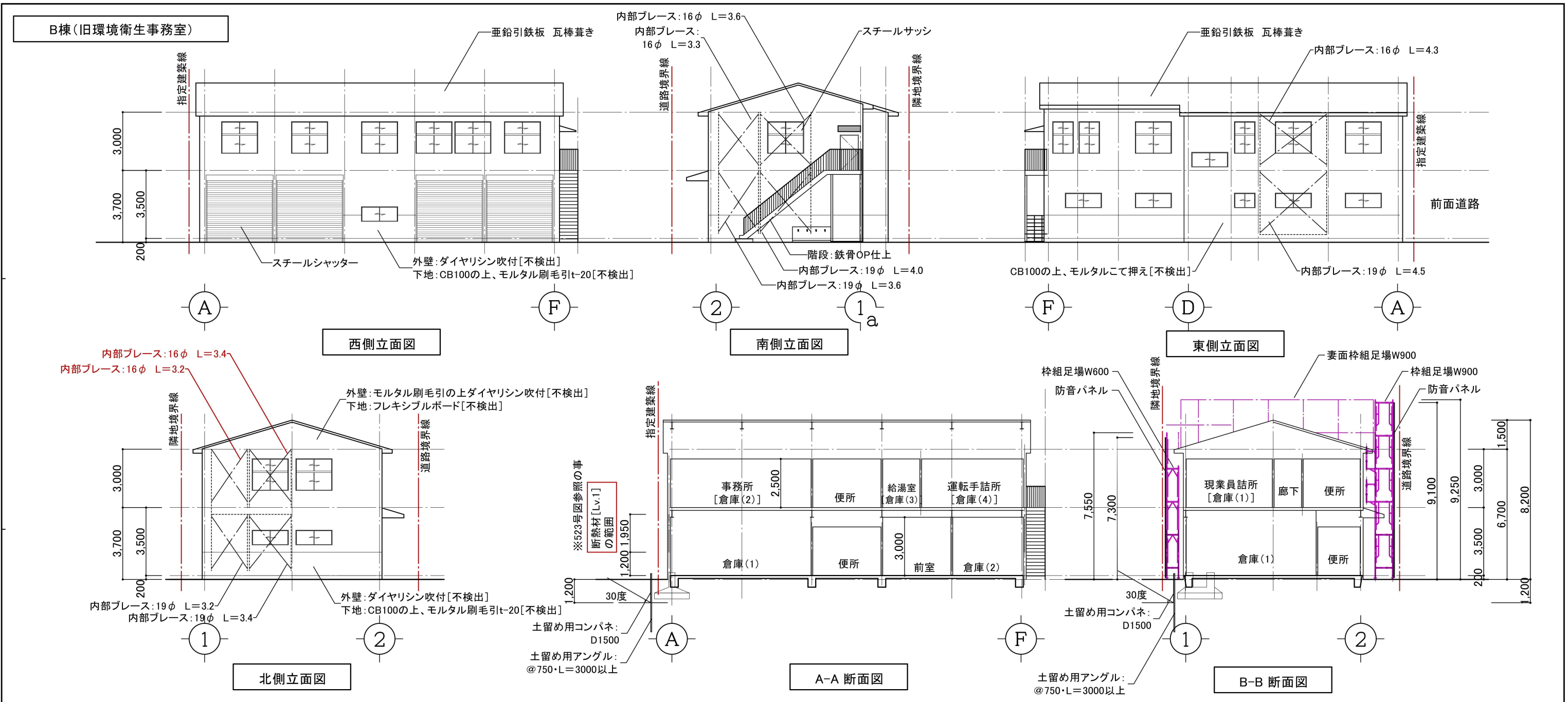


■B棟仕上表

不検出: 分析調査により、不検出。 分析調査により、石綿含有。 : みなし含有。

	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考
1階	倉庫(1)	コンクリート ホーキ目仕上	モルタルこて押え	CB下地 モルタルこて押え	フジミラスシートEP 石綿吹付の上 化粧合板(準不燃)貼り	梁型デッキプレート OP	
	便所	モザイクタイル貼		36角白タイル貼	プラスター塗	フレキシブルボード 4mm底目地貼 W.P	壁: 不検出
	倉庫(2)	コンクリート ホーキ目仕上	モルタルこて押え	CB下地 モルタルこて押え	フジミラスシートEP 石綿吹付の上 化粧合板(準不燃)貼り	梁型デッキプレート OP	
2階	現業員詰所 [倉庫(1)]	P タイル	ラワン H=150 厚 24.05	ラワンボード貼り9mm OSニス	スリット合板	プラスターボード 7mm 底目地貼 W.P	天井: 不検出 壁: 不検出
	事務所 [倉庫(2)]	P タイル	ラワン H=150 厚 24.05	プリント合板 6mm	プリント合板 6mm	吸音ボックス 300×600	
	便所	モザイクタイル貼		36角タイル貼	プラスター	フレキシブルボード 4mm底目地貼 W.P	壁: 不検出 ユニットバス2基
	廊下	P タイル	ラワン H=150 厚 24.05	ラワンボード貼り9mm OSニス	プリント合板 3mm	プラスターボード 7mm 底目地貼 W.P	天井: 不検出
	給湯室 [倉庫(3)]	P タイル	ラワン H=100 厚 24.05	ラワンボード貼り9mm OSニス	プラスター	フレキシブルボード 4mm底目地貼 W.P	吊中ダナ 流し: 三洋NKK-172 壁: 不検出
	宿直室 [和室]	タタミ	—	プリント合板 3mm	プリント合板 3mm	プラスターボード 7mm 底目地貼 W.P	
	台所 [前室]	P タイル	モルタルこて押えVP 目地切	モルタルこて押えVP 目地切	モルタルこて押えVP 目地切	フレキシブルボード 4mm底目地貼 W.P	吊中ダナ 流し: 三洋NKK-172 壁: 不検出
	運転手詰所 [倉庫(4)]	P タイル	ラワン H=100 厚 24.05	プリント合板	プリント合板	プラスターボード 7mm 底目地貼 W.P	
共通	階段室	ラス下地 モルタルこて押え		モルタルこて押えVP	1階梁下 フジミラスシートEP 石綿吹付の上 化粧合板(準不燃)貼り 2階 内部: プラスターボード	プラスターボード 7mm 底目地貼 W.P	真鍮は、 スリッ巾45ゴムナン 石綿吹付は、外壁に面す 部分のみ 壁: 不検出

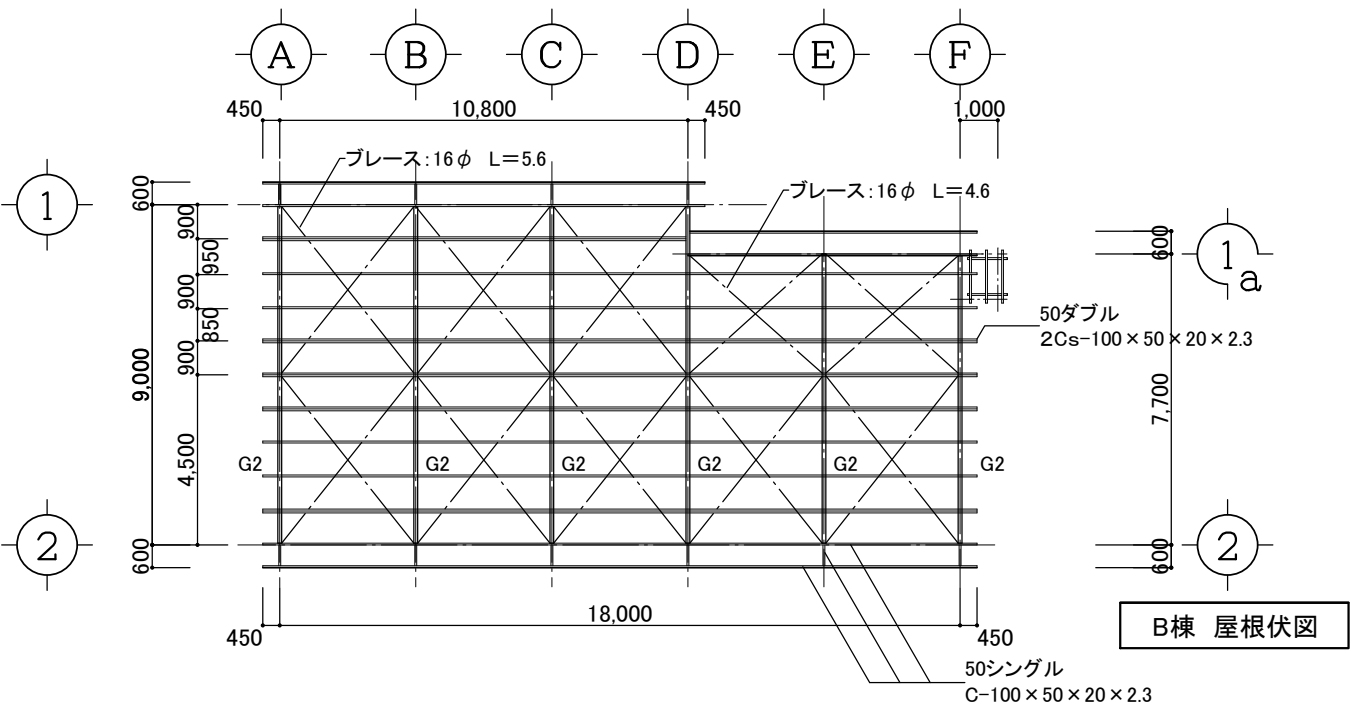
■C棟仕上: 518号図参照の事



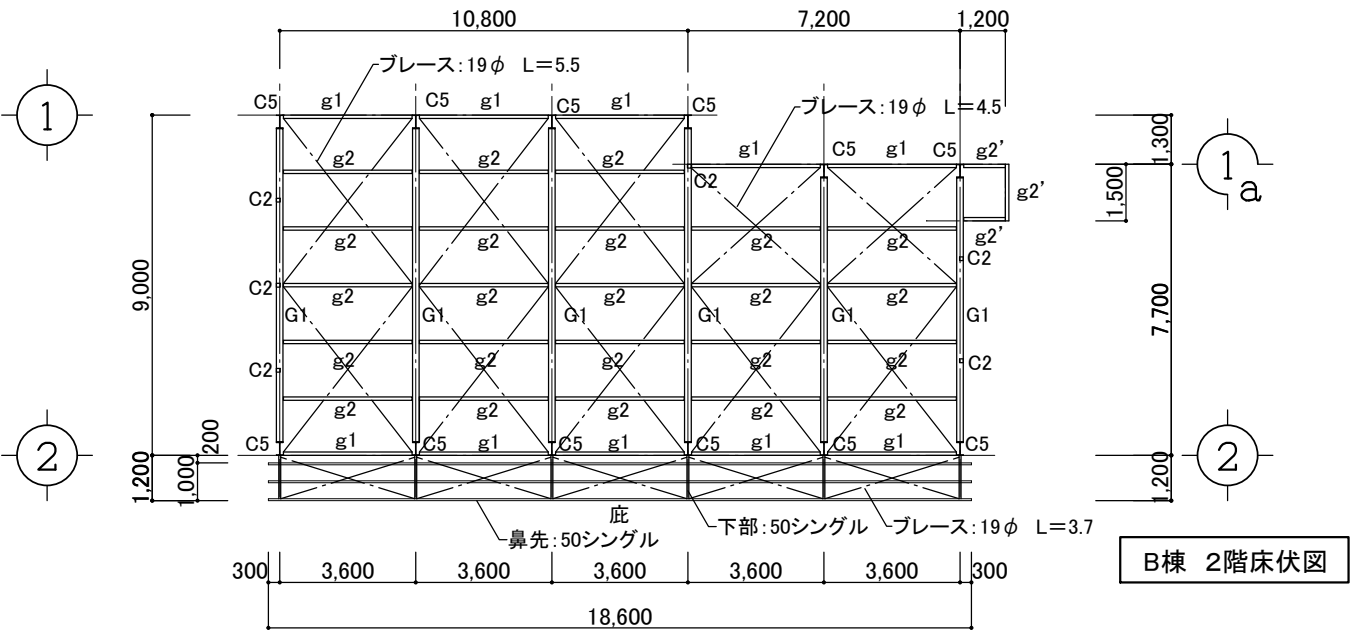
旧環境衛生事務所解体工事	特記事項				中尾総合建築設計事務所 NAKAO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE	architect	checked by	drawn by	Project Code	現況立面図・断面図(外部仕上げ)	Scale of drawing A1:1/100 A3:1/200	113
						中尾		山田	DATE			
									2025.2			

鉄骨部材リスト

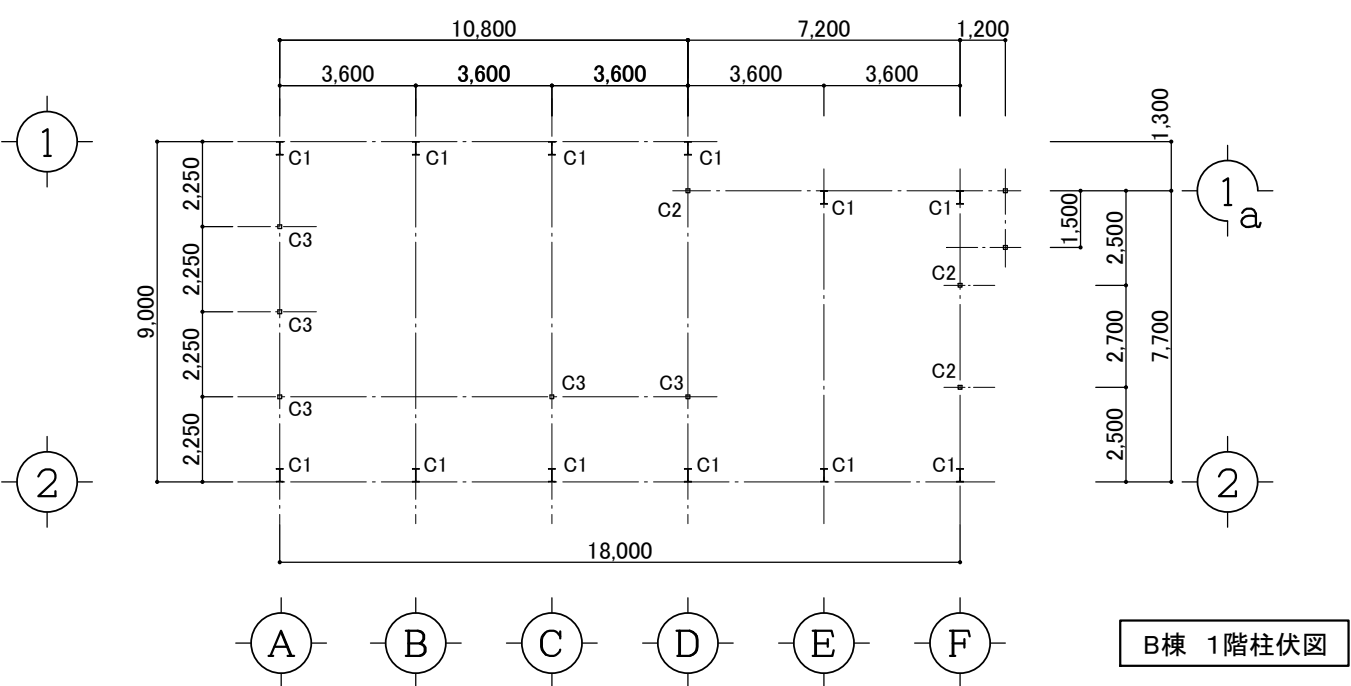
符 号	標準断面寸法 (mm)	断面積 (cm ²)	単位重量 (kg/m)	備 考
C1	H-350×175×7×11	63.14	49.60	
C2・C3・C4	2Cs-100×50×20×2.3	10.344 (5.172×2)	8.12 (4.06×2)	
C5・G2	ヤワタスタンプレーム FZ-935			C1・G1と同じと仮定
外部階段柱	H-100×100×6×8	21.90	17.2	
G1	H-346×174×6×9	52.68	41.4	
g1	[-200×90×4.5	21.74 (38.65×4.5/8)	17.04 (30.3×4.5/8)	[-200×90×8・・・断面積38.65cm ² , 単位重量30.3kg/mを基に類推
g2	[-250×90×4.5 @1500	22.03 (44.07×4.5/9)	17.3 (34.6×4.5/9)	[-250×90×9・・・断面積44.07cm ² , 単位重量34.6kg/mを基に類推
g2'	[-200×90×7	33.81 (38.65×7/8)	26.51 (30.3×7/8)	[-200×90×8・・・断面積38.65cm ² , 単位重量30.3kg/mを基に類推
50ダブル	2Cs-100×50×20×2.3	10.344 (5.172×2)	8.12 (4.06×2)	
50シングル	C-100×50×20×2.3	5.172	4.06	
底上部	C-60×30×10×2.3	2.872	2.25	



B棟 屋根伏図



B棟 2階床伏図



B棟 1階柱伏図

512号図 (B棟鉄骨部詳細図)・513号図 (鉄骨階段詳細図)を参照の事。

基礎梁リスト 1:50			
符 号	FG1	FG2	FG3
断 面			
寸法(幅×成)	600 × 300	600 × 400(300)	500 × 250
上端筋	2-16φ	3-16φ	2-16φ
下端筋	2-16φ	2-16φ	2-16φ
腹筋	2-9φ	9φ	2-9φ
スターラップ	9φ@200	9φ@200	9φ@200
躯体断面積	0.18m ²	0.21m ²	0.125m ²
捨てコン+砕石 断面積	0.06m ²	0.0525m ²	0.06m ²

躯体体積:1.0664m³
捨てコン+砕石体積:0.4940m³

Technical drawing of a foundation and column. The drawing includes a plan view at the top showing a 320x320 column with reinforcement details (BPL-16, C1, 94, 19φ, 8-13φ, 6-9φ, 3-13φ, 5-9φ) and a section view below showing the column on a 1,800x1,200 base with a 500mm high concrete pile. Dimensions for the pile and base are provided in millimeters.

Technical drawing of a trapezoidal structure, likely a culvert or drainage structure, showing dimensions and volume information.

Volume Information:

- 躯体体積: 1.7592m³
- 捨てコン+砕石体積: 0.7200m³

Dimensions:

- Top Width:** 1,800 (Total), 740 (Left), 320 (Center), 740 (Right)
- Bottom Width:** 1,070 (Total), 35 (Left), 1,000 (Center), 35 (Right)
- Height:** 2,300 (Total), 600 (Top), 1,300 (Middle), 400 (Bottom)
- Side Slopes:** 2,150 (Left), 2,213 (Right)
- Internal Dimensions:** 1,660 (Top), 1,000 (Bottom), 13φ5本 (Top), 9φ8本 (Bottom)

躯体体積:1.0658m³
 捨てコン+砕石体積:0.4180m³

850
 250
 9φ @ 200
 2-13φ
 GL
 2-13φ
 850
 2100
 300
 1500
 300
 9-9φ
 4-13φ
 150
 300
 600
 50
 200

躯体断面積: 0.132m²
 捨てコン+砕石断面積: 0.152m²
 躯体断体積: 0.1749m³
 捨てコン+砕石体積: 0.2014m³

躯体体積:0.4920m³
 捨てコン+砕石体積:0.2200m³

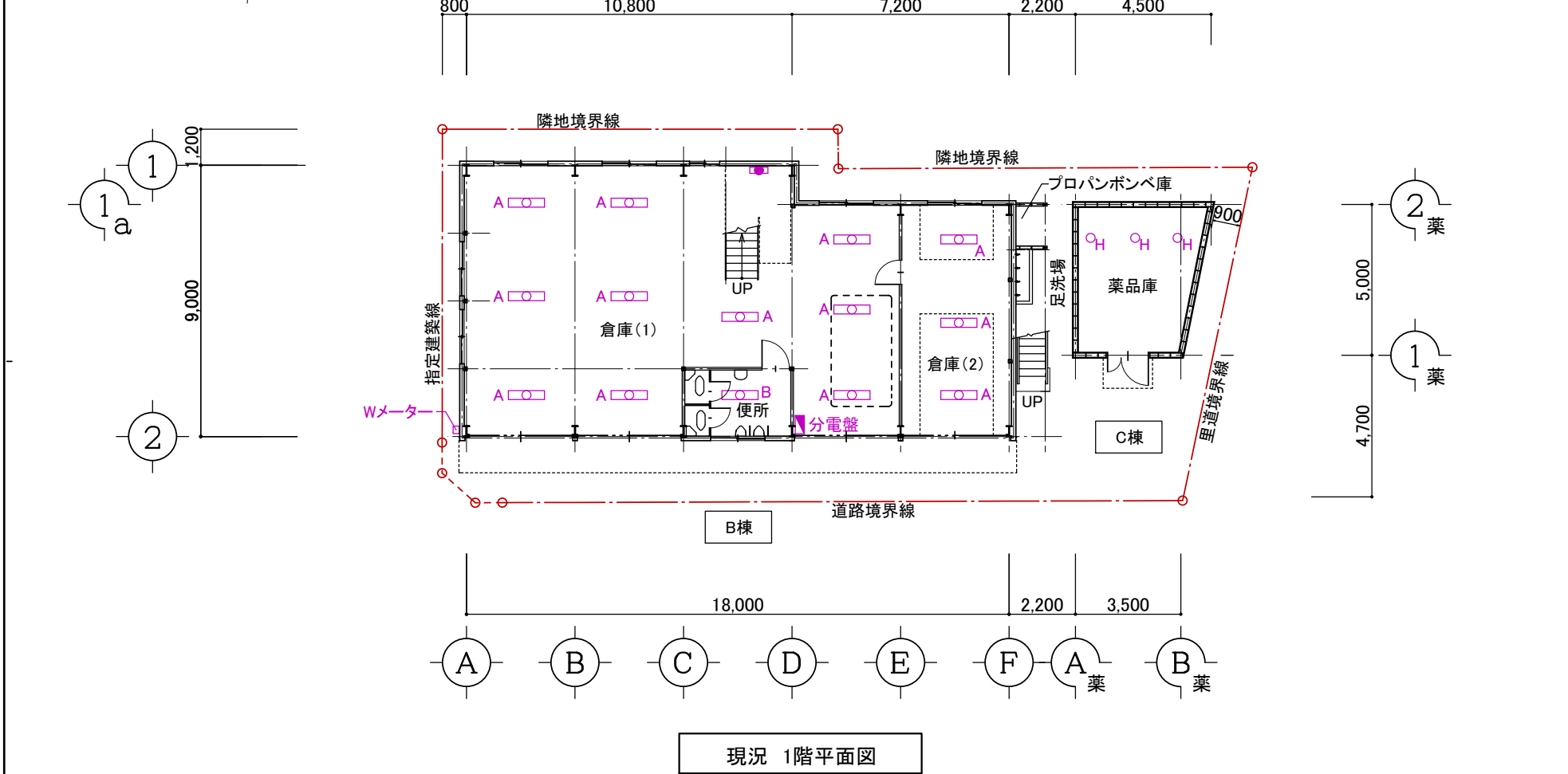
300
 300
 8-13φ
 1,350
 350
 1,000
 300
 300
 400
 200
 150
 50
 300
 300
 400
 6-9φ
 5-9φ
 4-9φ
 3-13φ
 1,000
 3-13φ
 900

躯体断面積:0.183m²
 捨てコン+砕石断面積:0.060m²
 躯体体積:3.3121m³
 捨てコン+砕石体積:1.0859m³

特記事項			
	*		

Project Code	
DATE	2025.2

Kind of drawing	Scale of drawing	Number in set
既存建物基礎伏図・基礎詳細図	A1:1/100, 1/25 A3:1/200, 1/50	202

[illegible]

型式適合認定書別添仕様書及び図面

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による担体流動循環方式
【大臣認定番号（認定年月日）：DW3N-0157（平成27年8月31日）】

会 社 名		株式会社 西原ネオ		
		〒108-0023東京都港区芝浦三丁目6番18号 電話03-3452-4441		
型 式		ネオ浄化そう NCZ		
		-25型	-30型	
型式適合 認定番号		型01Cad0a 0254766	型01Cad0a 0304768	
認定年月日		令和5年6月16日		
放流水質		大臣認定による性能：BOD 20mg/L以下 COD 30mg/L以下 T-N 20mg/L以下 SS 15mg/L以下		
仕 様 表				
槽の容量 及び寸法	処 理 対 象 人 員	25	30	
	有 効 容 量	夾雑物除去槽	2.839	3.395
		嫌気ろ床槽	2.818	3.380
		担体流動槽	1.284	1.542
		沈殿槽	0.737	0.737
		消毒槽	0.078	0.078
	寸 法	A1	3,060	3,555
		A2	2,165	2,660
		A3	65	65
		B1	1,870	1,870
		B2	958	958
		B3	65	65
		C1	2,150	2,150
		C2	1,650	1,650
		C3	50	50
		C4	450	450
		C5	550	550
		a	450	450
		b	600	600
		c	600	600
		材料・材質 及び機械設備の仕様	く 体	材 質
板 厚	板厚4.5～11.5			
仕切板	材 質		FRP	
	板 厚		板厚3.0～10.5	
ろ 材	形 状		骨格様球状	
	材 質		PPまたはPE	
	比表面積		66 m ² /m ³ 以上	
担 体	充填率(%)		40	
	形 状		スポンジ状立方体	
	材 質		PU	
	外形寸法		20×20×20	
	比表面積		300 m ² /m ³ 以上	
散気管	充填率(%)		45	45
	材 質		PP、PE、ABSまたはPVC	
	長 さ		160×4	160×4
	送風機	型 式	電磁ダイアフラム式または 電磁フリーピストン式又はロータリー式	
吐出風量 (L/分)		170以上	200以上	
	流入管	材 質	PVC	
	内 径	125		
	マンホール	材 質	プラスチック (PP／FRP) または铸铁	
内径 × 個 数		450×1 600×2		
注) 寸法の単位はmm、容量の単位はm ³ とする。				
特記事項	振動、騒音、防虫、防臭対策は必要に応じて行う。 流入、設置条件によりオプション槽を組み合わせる。			

